

武川久兵衛 ＝ 飛騨屋四代に渡る蝦夷地軌跡 ＝

主催 / (財)下呂ふるさと文化財団 ・ 下呂郷土史研究会

江戸時代中期に飛騨から蝦夷地(北海道)に進出し、四代、91年間に渡って事業を行うとともに、アイヌやロシアなどの北方世界と交流した商人がいました。それが下呂の武川家です。屋号は“飛騨屋”と称し、主人は久兵衛を名乗りました。

武川家には、飛騨の名主としての村方資料とともに、飛騨屋久兵衛四代(倍行、倍正、倍安、益郷)が活躍した蝦夷地の資料が残っています。武川家の資料は、昭和44年に県文化財の指定を受けて、現在は岐阜県歴史資料館に寄託されています。

◆開催日 **平成21年8月23日(日)**

午後2時より

◆会場 下呂市湯之島 **温泉寺**

◆講師 下呂市立尾崎小学校校長

田添 好男先生

◆参加費 **無料**

※どなたでもご参加いただけます！



温泉寺・武川家代々の墓(岐阜県指定文化財)



車でご来場の際は、温泉寺専用駐車場をご利用ください。

●田添 好男先生 プロフィール●

下呂市立尾崎小学校長。昭和31(1956)年、益田郡小坂町坂下(現下呂市小坂町)に生まれる。昭和54年、岐阜大学教育学部卒業後、県内各小・中学校で教鞭をとる。平成9年から4年間、岐阜県歴史資料館に勤務し、『岐阜県教育史』の編集に従事する。平成13年より中学校教頭を経て、平成19年より再び岐阜県歴史資料館勤務となる。歴史資料部長として、主に教育普及事業に力を入れる。本年度4月より現職。

【お問い合わせ】

(財)下呂ふるさと文化財団 事務局

(下呂市役所 萩原庁舎 交流会館開設準備室内)

TEL 52-2000 内線 387